

第37回 筑協「つくば3Eフォーラム」委員会議事次第

- 1 日 時 令和6年10月22日(火) 13:30~15:00
- 2 場 所 文部科学省研究交流センター 2階第1会議室
オンライン会議 (Microsoft Teams)
- 3 議 題
 - (1) 第36回筑協「つくば3Eフォーラム」委員会議事要旨の確認について
 - (2) つくば3Eフォーラムの令和6年度事業計画について
 - (3) タスクフォースの令和6年度活動計画について
 - ・ 次世代エネルギーシステムTF
 - (4) 第17回つくば3Eフォーラム会議について
 - (5) その他
- 4 配付資料
 - (1) 第36回筑協「つくば3Eフォーラム」委員会議事要旨(案)
 - (2) 令和6年度事業計画
 - (3) タスクフォースの令和6年度活動計画
 - ・ 次世代エネルギーシステムTF
 - (4) 第17回つくば3Eフォーラム会議について

次回日程 令和7年3月頃

第 36 回 筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨（案）

- 1 日 時 令和 6 年 3 月 6 日（水）15：00～16：30
- 2 場 所 文部科学省 研究交流センター 2 階 第一会議室
Microsoft Teams でのオンライン会議
- 3 出席者 （順不同、敬称略） ◎オンライン参加
委員 長：鈴木石根（筑波大）
委 員：◎小貫智也（茨城県 代理：相田大輔）、◎伊藤智治（つくば市）、
尾形敦（産総研）、篠原嘉一（物材研 代理：磯田幸宏）、
石田政義（筑波大）
TF 座長：（石田政義（筑波大））
事務局長：内海真生（筑波大）
ホ ー ーバ ー：◎足立伸一（高エ研 代理：福田浩）
- 4 配付資料
 - (1) 第 35 回筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨（案） [資料 1]
 - (2) つくば 3 E フォーラムの令和 5 年度活動報告と令和 6 年度事業計画
[資料 2 - 1、2]
 - (3) タスクフォースの令和 5 年度活動報告と令和 6 年度活動計画
・次世代エネルギーシステム TF [資料 3 - 1、2]
 - (4) 筑波研究学園都市交流協議会規約 [資料 4]
 - 委員確認票
- 5 議 事
 - (1) 第 35 回筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨の確認について
委員長から、資料 1 に基づき、各委員にメールにて照会・確認済みである旨の説明があり、異議なく確認された。
 - (2) つくば 3 E フォーラムの令和 5 年度活動報告と令和 6 年度事業計画について
事務局長より、資料 2 - 1 に基づき、令和 5 年度の活動報告について説明があった。また、委員長より資料 2 - 2 に基づき、令和 6 年度事業計画について説明があり、承認された。
 - (3) タスクフォース（TF）の令和 5 年度活動報告および令和 6 年度活動計画について
○次世代エネルギーシステム TF
石田 TF 座長から、資料 3 - 1 に基づき、令和 5 年度活動報告についての説明があった。また、資料 3 - 2 に基づき、令和 6 年度活動計画についての説明があった。
《以下、各委員からの質問コメント等》
 - ・昨年度に比べ自治体や議員との面談が増加しているが、どのチャンネルを通じて TF の活動を認知しているのか。

⇒行政を通じて活動を紹介する機会を得ることが多い。また、分科会メンバーによる活動によって認知に繋がっているのではないかと思う。

・TFの今後の方向性についてどのように考えているか。

⇒3Eフォーラム本体の方向性にも因るが、活動を継続していくのであれば後継者の選定も含めて考えていきたい。

(4) 令和6年度つくば3Eフォーラム委員会の体制について

委員長から、令和5年度末をもって委員長を退任し、次期委員長として内海事務局局長を推薦する旨の申し出があり、承認された。

委員長より、筑波研究学園都市交流協議会規約に基づき、次期委員長は企画調整委員会の指名により決定される旨の案内があり、本委員会での協議内容について筑協事務局に共有する旨の申し出があった。

(5) その他

つくば市伊藤委員より、令和5年度に開催した「気候市民会議つくば2023」にかかる情報共有があった。

委員長から、委員の異動がある場合は、事務局まで委員確認票を提出いただきたい旨の依頼があった。

次回日程 令和6年9月頃を予定

以上

令和6年度 事業計画

資料2

筑協「つくば3Eフォーラム」委員会

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体に関わる活動	委員会等			●事務局会議 (筑協幹事会) (筑協総会)			●3EF委員会		●事務局会議 ◆実行委員会等				●3EF委員会
	行事											◆第17回フォーラム会議	
技術実証実験の提案 システム開発	タスクフォース 次世代エネルギー	水素ステーション誘致促進活動、茨城県エネルギー施策支援、筑波大学キャンパス内水素ステーション構想の具現化、SDGsへの提案策定 ほか											

令和 6 年 10 月 22 日

令和 6 年度活動予定

次世代エネルギーシステムタスクフォース

1. 課題

カーボンニュートラルを実現するホロニズムタウンの具体的な実証プロジェクトおよび啓発活動の拡大

2. 概要

当タスクフォースは、Society 5.0 や SDGs の理念に基づく「つくばモデル」の発展を目指し、新エネルギーシステムの具体的な実証とメタノール水をエネルギーキャリアとする提案を推進してきた。本年度は、つくばみらい市、桜川市、呉市、およびその他自治体と連携し、具体的なプロジェクトの具体化を進め、2050 年目標の実質 CO2 排出ゼロ社会を目指す実験街区の実現に向けた活動を強化する。

3. 計画・方法

2050 年のカーボンニュートラル達成に向け、カーボンマイナスを目指す野心的なアプローチが必要である。本年度は、連携自治体とのプロジェクトを通じて、実証プラットフォームの設置、市民への啓発活動、および具体的な実験街区の実現を推進する。具体的計画は以下の通り。

(1) 国内外の関連取り組みとの連携強化

グローバルなカーボンニュートラル活動と連携し、優れたアイデアを取り入れ、本プロジェクトの独自性とバージョンアップを図る。

(2) ホロニズムタウン実証プロジェクトの推進

連携自治体と共同でホロニズムタウン構想の実証プロジェクトを具体化し、社会的インパクトの解析と啓発活動を実施する。

(3) 成果発表と資金獲得のための活動

学会やメディアを通じて成果を公表し、公募を含む資金獲得に努める。また、引き続き組織化を進め、事業化に向けた基盤を強化する。

その他、本気で CN を達成する覚悟をもって、臨機応変に早期の目標達成を念頭に活動を推進する。また、成果については適切な関係学会等で積極的に公表していく。

4. 期待される成果・効果

先進的なカーボンニュートラル社会の実現に向けた役割を担い、具体的なプロジェクトを通じて社会全体に影響を及ぼす。研究成果は、茨城県を始め国内外での社会実装に貢献し、広く情報発信することで高い社会的評価を得ることを目指す。

5. 具体的取り組み予定

上記1～4は昨年度計画とほぼ同じである。単純には特別に獲得できた予算がなく、通常の配分予算の範囲でしか活動が進まなかったことに拠る。その状況では、推進のための基盤整備を継続することに尽きる。一方で、国／県／市レベルの政治家との話ができるようになったことの進展はあり、引き続き努力を重ねる。

研究活動に関して、①企業との共同によるメタノール水キャリアモデル構築、②NIMSとの磁気冷凍技術の基礎検討具体化（JST 予算）、③概算要求「地球規模的課題解決のための全学的広域分野横断型研究推進プラットフォームの構築」（DTF 機構、内示）、④ホロニズムモビリティ推進を予定する。また、分科会参加企業との共同開発および実証計画も打診されていることから、様々に具体化することが予想される。

6. その他課題

石田（現座長）が2026年3月定年退職予定であり、座長交代を始め、TF自体の組織および運営方法の検討を始める必要がある。

以 上

第 17 回 つくば 3 E フォーラム会議について

日 時 : 令和 7 年 1 月 2 5 日 (土) 13:30~17:00 (予定)

会 場 : 筑波大学 春日エリア
情報メディアユニオン棟 2 階「メディアホール」

テーマ : カーボンニュートラルのリアルを目指す (仮題)

第 10 回 2017(平成 29)年 1 月 21 日

・地域を元気にして地球温暖化対策に貢献する経済活動

第 11 回 2018(平成 30)年 1 月 26 日

・環境変動の現状をあらためて確認する

第 12 回 2019(平成 31)年 1 月 12 日

・SDGs の中の 3 E

第 13 回 2020 (令和 2)年 1 月 25 日

・廃プラスチック これからどうする？

第 14 回 2022 (令和 4)年 1 月 22 日

・つくば 3 E フォーラムのこれまでとこれから

第 15 回 2023 (令和 5)年 1 月 21 日

・2050 年カーボンニュートラルを考える

第 16 回 2023 (令和 5)年 10 月 1 日

・2050 年の生活と社会を考える